

# 平成30年度 学校評価一覧シート

## ア 自己評価結果等

| 項目担当  | 本年度の重点目標  | ・進路指導の充実を図る。<br>・生徒個々の能力の向上を図る。<br>・自己表現できる人間の育成に努め、思いやりの心を醸成させる。<br>・開かれた学校づくりを推進し、地域への情報発信を行い生徒募集を拡大する。  |  |
|-------|---|--|--|
|       | 重点目標  | 具体的方策  | 評価結果と課題  |
| 総務部   | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校と家庭間の連携を深める。</li> <li>儀式的行事の円滑な運営を図る。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>P T A委員会の活性化を図る。</li> <li>e-メッセージを積極的に活用する。</li> <li>全職員の協力体制を整え、儀式的行事に取り組む。</li> <li>生徒の相互理解の場として活用する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>P T A委員会の積極的な活動により、各委員会の充実した取り組みが図れた。</li> <li>e-メッセージの活用により、配布物等、保護者への伝達が高まった。</li> <li>全職員の協力のもと、生徒は概ね規律ある態度で儀式的行事に取り組めた。</li> </ul>  |
| 教務部   | <ul style="list-style-type: none"> <li>各教科の学力を向上させる。</li> <li>生徒数の減少を踏まえ、本校の情報発信をし、中学生や保護者に伝える機会等を検討する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業を大切にす。<br/>(授業規律、成績不振者指導等)</li> <li>各教科に、基礎学力を高めるために工夫を依頼する。</li> <li>中学校の進路説明会や、地域交流を通じ本校の様子を伝える。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業を大切にす意識を高め、学力の向上につなげることができた。また、追試該当者、追試不合格者に対する指導により一定の成果が得られた。</li> <li>1年生に基礎学力診断テストを導入し、基礎学力に関する意識が高まった。今後も基礎学力向上のために引き続き対応を検討したい。</li> <li>中学校の進路説明会や中学生保護者説明会において本校の情報発信ができた。</li> </ul>   |
| 生徒指導部 | <ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶の励行、身だしなみを整える。</li> <li>安全・安心な学校生活の実現。</li> <li>いじめの未然防止、早期発見、適切な対処。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>身だしなみ指導を年間8回実施する。校門指導で挨拶の励行も行う。</li> <li>講話の実施や、全体、HR単位、部活動単位または個人に対し全職員で協力して指導する。命の大切さを伝えるとともに、人権に関する指導の充実と、交通事故の防止減少に努める。</li> <li>生活アンケートを利用した情報収集と、家庭や地域社会との連携を図り、いじめの未然防止・早期発見につなげる。</li> <li>情報を職員間で共有し、いじめ防止対策委員が中心となり全職員で組織的に対応する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>身だしなみの乱れが目立つ生徒がいなくなった。校外でも自覚を持って身だしなみを整えてくれると良い。あいさつをする生徒が増加した。</li> <li>人権講話や集会、日々の学校生活で命の尊さや人権について考える機会を与えた。交通安全講話や通学路交通指導で交通安全に関する指導を行った結果、大きな事故も無かった。</li> <li>生活アンケートの実施で、いじめの実態把握に努め、気になる回答をした生徒には担任面談を実施し、重大な事態等につながることを防ぐことができた。</li> </ul> |
| 進路指導部 | <ul style="list-style-type: none"> <li>進路意識の高揚を図る。</li> <li>進路校内選考基準の見直しについて、引き続き検討する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>将来の目標を持たせ、自己実現に必要な能力を伸ばできるように援助する。</li> <li>進路選考の申し合わせ事項の見直しを検討する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>就職試験で厳しい結果を下された企業があった。面接試験で、他に勝る強い意欲を表すことが必要とされる。</li> <li>現行の選考基準に、就職試験で約7割の企業が行なっているS P I試験、または基礎学力試験の模擬試験結果を加える案で進んでいる。31年度に開始する「高校生のための学びの基礎診断」制度に併せて、検討を続ける必要がある。</li> </ul>   |
| 保健厚生部 | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康への意識を高め、心身ともに健康的な学校生活を送れるようにする。</li> <li>日常の清掃に積極的に取り組み落ち着いた学校環境を保つ。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断、保健講話、毎日の健康観察を通じて健康への意識を向上させる。</li> <li>スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等と連携し、教育相談体制の充実を図る。</li> <li>清掃を毎日全員で実施し、環境美化に努める。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康観察の提出率が向上し、健康意識が高まっている。保健委員を通じてクラスへの還元を図りたい。</li> <li>個別の事案対応でS C、S W、および各科相談係との連携がはかれた。今後、外部機関との連携強化をしていきたい。</li> <li>清掃活動に順調に取り組み、ゴミの分別が定着してきた。なお一層の減量化を図りたい。</li> </ul>  |
| 図書情報部 | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が興味を持てる本の購入や企画を行い、利用し易い図書館を目指す。</li> <li>個人情報の漏洩防止及び情報セキュリティの強化を図る。</li> <li>ホームページの内容を充実させ本校の魅力を地域に発信する。</li> <li>「K0-GY0-Times」の発行を通じて本校の魅力をアピールする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>「図書館だより」を通じて本や企画の紹介を行い図書館利用を呼びかける。</li> <li>ネットワークハードディスクの適正な利活用を推進する。</li> <li>学校行事や部活動の試合結果など、情報の更新を随時行う。</li> <li>学校ホームページの情報を補完し、地元の中学校の教員や生徒および保護者、企業関係者に積極的にP Rする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館の利用者数及び図書の貸し出し数が、すべての学年で昨年度よりも大幅に伸びた。</li> <li>個人情報管理・運用規定の改定に取り組んだ。</li> <li>修学旅行中、現地から送られてくる写真をホームページに毎日2～3回ずつアップすることで、保護者や教員が現地の様子を随時確認できるようにしたところ、好評であった。</li> <li>「K0-GY0-Times」で学校行事や日常の学校生活などを紹介するなど、本校に親しみを持ってもらうように心がけた。</li> </ul>     |
| 生徒会部  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事の充実を図る。</li> <li>ボランティア活動への積極的参加を図る。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が自主的に活動し、全校生徒が協力して学校行事に取り組めるように、生徒会執行部が中心になって企画や運営を行う。</li> <li>ボランティア活動への参加を全校に呼びかけるとともに、地域への貢献ができるよう活動を行う。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は生徒会執行部の意見で、体育祭種目の障害物リレーに竹馬を取り入れた。竹馬の足が低くてやりづらいという意見はあったが、生徒の意見が反映されたことや生徒たちが体育祭を楽しんでいたことはよかったと思う。</li> <li>前年度までは生徒会執行部のみで参加していたボランティア活動（特別支援学校や支援施設）を今年度は参加者を募り、若干名の生徒が集まった。参加した生徒は、人とふれあうことの楽しさを感じてくれたようであった。</li> </ul>                      |
| 工務部   | <ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得や学校行事等を通して生徒のスキルアップを図り、自信を付けさせる。</li> <li>開かれた学校づくりを意識し、地域イベントを通じ本校の認知度を高める。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得の必要性を理解させ、自ら積極的に取り組む姿勢を持たせる。</li> <li>地域連携事業に積極的に参加し、コミュニケーション能力の向上を図る。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>各種資格取得の合格者数の増減はあるが全体的によく頑張った。今後は、部活動と資格取得の両立を果たすことができる環境を整備していきたい。</li> <li>半田市発明クラブとの工作教室や雁宿小学校への出前工作教室、サマーアタックなど小学生対象講座に積極的に取り組めた。</li> </ul>   |

|                    | 重点目標   | 具体的方策  | 評価結果と課題  |
|--------------------|--|--|--|
| 電子機械科              | <ul style="list-style-type: none"> <li>学科への興味・関心を深め、学習・進路に対する積極的な姿勢を育成する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学習を始めとし、進路を意識した資格取得や技能検定および競技会へ積極的に取り組ませる。</li> <li>外部との連携を深めることで、キャリア教育の推進を図る。</li> <li>地域の活動に参加し、相互の関連を理解し連携を深める。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>全員が受験する検定試験や技能講習のほか、希望者は各種の検定や資格取得に取り組んだ。計算技術検定1級、製図技能士2級、危険物乙種全種類など結果を残せた。課題研究ではE Vカー、コマ大戦、高校生ロボットに参加した。</li> <li>1、2年生の校外学習（工場見学）や進路講話を実施することで、職場の様子を知るとともに会社が必要とする人材などの情報を得られた。下級生ではまだ意識が薄い生徒もいるようである。</li> <li>半田市内の行事に協力することで、地域の活動に関心を持つことができた。課題研究の「からくり人形」は半田市博物館で常設展示されることになり、今後も継続的に貢献したい。</li> </ul> |
| 電気科                | <ul style="list-style-type: none"> <li>学科への興味関心を高めながら、生徒個々の基礎学力とコミュニケーション能力などの向上を図る。</li> <li>生徒が自己表現できる場を提供しながら、開かれた学校づくりを目指す。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>平素の授業や資格取得のための学習を通して、基礎学力および電気に関する知識と能力を高める指導をする。</li> <li>レポート指導や声かけなどによりコミュニケーション能力の向上を図る。</li> <li>部活動や各種競技大会などに積極的に参加できる環境を整える。</li> <li>学校行事に積極的に参加させ、地域貢献や他人と協力できる場を提供し、地域への情報発信につなげる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>専門知識・技術の習得のため実習内容を見直し、3Dプリンタやビジュアルプログラミングなどを使用した、わかりやすい学習指導ができた。</li> <li>半田市の小学校、高校などと地域交流を深め、ものづくりボランティアや知多地区生徒探究発表会に参加し、ものづくりの楽しさを伝えることができた。</li> <li>各種競技大会、インターンシップ、地域行事など積極的にに関わり、生徒に自己表現する場を提供することができた。</li> </ul>   |
| 土木科                | <ul style="list-style-type: none"> <li>学科への興味・関心を深め、学習・進路に対する積極的な姿勢を育成する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>土木への興味と関心を深めさせ、各種資格取得・競技大会へ積極的に参加し、生徒の達成感を養う。</li> <li>建設業界など外部との連携を深め、キャリア教育の推進を図る。</li> <li>地域の行事・活動に参加することで、公共性を身につけさせる。</li> <li>コミュニケーション能力を向上させるため、挨拶や正しい言葉遣いを日頃から指導する。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得については測量士補に11名、2級土木施工管理技術検定学科試験に27名、小型移動式クレーンに2名、小型車両系建設機械に23名、ローラーに21名が合格した。</li> <li>現場見学、出前授業、インターンシップに参加し、土木への興味・関心を持つことができた。</li> <li>半田市の行事等に参加することにより、公共性を身に付けることができた。</li> <li>コミュニケーション能力については、特に3年生においては就職試験に向けてしっかり指導を行なうことができたので挨拶や言葉遣いがかかなり良くなり、向上した。</li> </ul>                                |
| 建築科                | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の向上と規範意識の確立</li> <li>進路実現に向けた意識の高揚</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>規則正しい生活リズムを身につけ、遅刻・欠席・早退をなくすよう努めさせる。</li> <li>身だしなみを整え、気持ちの良い挨拶、言葉遣いができるよう指導を推進する。</li> <li>出前授業・インターンシップ・現場見学会・職業指導講話などを通して、早期に目標を設定する意識を持たせ、社会人としての勤労意欲の向上を図る。</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>3学年とも遅刻・欠席・早退については比較的少なく、生活リズムを身につけている生徒が多いが、まだ、遅刻等の多い生徒の指導が必要である。</li> <li>身だしなみ、挨拶、言葉遣い等については、特に悪い生徒はいないが、もう少ししっかりできるよう引き続き指導をしていきたい。</li> <li>1学期に職業指導講話を行い、本校建築科の卒業生から講話をしていただいた。また、夏休み中にインターンシップ、2学期には出前授業と現場見学会等を行い各学年進路実現に向けての意識が高まった。さらに、進路実現に向けた意識の高揚が図れるような取り組みをしていきたい。</li> </ul>                    |
| 1年学年会              | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立と日常のマナーを身につけさせるとともにコミュニケーション能力の向上を図る。</li> <li>1年時より進路を意識させることで、学習への意識を高める。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻・早退・欠席をしないことの大切さや、挨拶言葉遣い・身だしなみやまわりとの協調性を、関係分掌との連携を取り合いながら学校生活のあらゆる場面で指導する。</li> <li>HR・L T活動・学年集会を利用し、職業講話や進路調査、職業適性検査を行なう。また、各教科や学科と連携をはかり、授業に臨む心構えを理解させ、提出物や課題が遅延することなく提出できるよう指導する。</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>各担任の声かけにより遅刻・早退・欠席とも概ね低い数字であった。挨拶については、できる生徒とできない生徒がはっきりしており、指導を強化する必要がある。身だしなみについては、概ね良好であった。</li> <li>進路に関する行事は予定通り実施できた。今後は、職業適性検査の結果などを保護者会等に活用していく。また、主体的な学習を身につけさせるために、学ぶことの大切さを引き続き根気よく指導する必要がある。</li> </ul>   |
| 2年学年会              | <ul style="list-style-type: none"> <li>自ら学び、主体的に行動する力を身につけさせる。</li> <li>進路に対する意識を高め、具体的な目標を明確にする。</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>報告・連絡・相談が自分で考えてきちんとでき、適切な行動がとれるように、学年会や関係分掌との連携を取り合いながら学校生活のあらゆる場面で指導する。</li> <li>個人面談を積極的に行い、自己発見の援助をする。また、進路ガイダンスや講話を充実させ職業に対する理解を深めさせる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に学年集会を行い、学校生活に対する意識を高めた。</li> <li>修学旅行を成功させるために、生徒の役割を明確にした。その結果、生徒が責任を持って行動することができ、修学旅行を円滑に行うことができた。</li> <li>進路ガイダンスとして、卒業生による講話を実施した。歳の近い先輩の話聞くことで、進路意識を高めることができた。</li> </ul>   |
| 3年学年会              | <ul style="list-style-type: none"> <li>個人の能力・適性を十分に把握し、個々の生徒に適した進路選択ができるようにする。</li> <li>社会人としてのモラル、マナーをしっかりと身につけさせる。</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>L Tや個人面談を活用し、個々の生徒の進路希望についてよく確認をする。</li> <li>日常生活指導により、社会人として必要なモラル、マナーを身につけさせる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒、保護者の希望を面談を通して把握し、ほとんどの生徒が希望した進路を選択することができた。進路指導部と連携を図り、進路に関する情報提供や進路指導を確実に行うことができた。</li> <li>自分で進路を決めることができない生徒への指導に関して、検討していく必要がある。</li> <li>毎日の指導を根気よく行うことで、ほとんどの生徒が社会人としてのモラル、マナーが身についた。</li> <li>一部の生徒が、携帯電話の取扱いや身だしなみについて学校のルールが守れず指導された。ルールを守ることの重要性を指導していく必要がある。</li> </ul>                           |
| 学校関係者評価を実施する主な評価項目 |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立について</li> <li>学校行事、部活動の充実・発展について</li> <li>資格取得の推進について</li> <li>学校いじめ防止基本方針に基づく取組について</li> <li>在校時間等の状況記録の結果を活用し、業務の適正化を図るとともに教職員の充実・適切なメンタルヘルスの保持に努めることについて</li> </ul>                       |  |

イ 学校関係者評価結果等

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| <p>学校関係者評価を実施した主な評価項目</p>           | <p>本校の教育活動（ 学校活動・進路指導・部活動・生徒会活動・体験入学・研究発表会 等 ）<br/>         ・生徒の基本的な生活習慣の確立（ 挨拶・遅刻防止・健康管理・登校指導・身だしなみ指導 等 ）<br/>         ・本校の教育活動の情報公開と、保護者との協力関係の構築</p>   |
| <p>自己評価結果について</p>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動などの取り組みは非常に活発で、各大会において好成績を残している。</li> <li>・各種競技大会へも積極的にチャレンジできている。</li> <li>・保護者との連携においては、さらに高める必要がある。</li> </ul>  |
| <p>今後の改善方策について</p>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年、各学科、各分掌において横断的な連携を強化していく必要がある。</li> <li>・地域、企業との相互理解を高め、さらなるキャリア教育の充実が必要である。</li> <li>・粘り強く、継続した学習指導、生徒の気持ちに寄り添った生徒指導を図っていく必要がある。</li> <li>・HP等を利用した学校情報の発進力強化に向けて改善の必要がある。</li> </ul>                  |
| <p>その他<br/>学校関係評価委員から出された主な意見要望</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に通用する人間力を持った人材教育ができている。</li> <li>・生徒の希望進路を実現するため、基礎学力の向上が図られている。</li> <li>・部活動や資格取得、地域連携に意欲的に取り組むことができている。</li> <li>・時代のニーズに対応した工業技術者の育成をお願いしたい。</li> <li>・ものづくりを通じた社会貢献の楽しさ、喜びを感じる教育を推進して欲しい。</li> </ul> |
| <p>学校関係者評価委員会の構成および評価時期</p>         | <p>構成       : 学校評議委員 5 名、学校長、教頭 2 名<br/>         評価時期   : 2 月中旬</p>   |